

北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2021.01.No281

1月号

目次

会長新年挨拶	1
ヘリテージ・マネージャー報告	2
西から東から「恵庭のまち」	5
道士会の動き	6
Coffee Break	7
information	8

URL <https://www.h-ab.com/>



アフターコロナを見すえて

一般社団法人北海道建築士会 会長 高野 壽世

新年 明けましておめでとうございます。

新春を迎え、謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。会員の皆様には、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めているなか、本会の運営に力強いご支援をいただき厚く御礼申し上げます。

昨年は、年明け早々から中国武漢で発生した新型コロナウイルス感染症が、たちまちのうちに全世界を席卷し、私たちの生活も一変するという大変な1年でありました。その第一波から約10か月が過ぎ、私たちも徐々にではありますが、新しい生活スタイルにも慣らされてきた感があります。With コロナのもと、日常生活、社会生活は一旦の落ち着きを見せておりますが、本会の活動については、このコロナ禍により大きな影響を受け、本部そして支部においても多くの事業が中止または延期となり、会員の皆様にご不便をおかけしたことと思えます。

特に、会員が年に一度一堂に会する全道大会につきましては、昨年は網走大会が延期となり、昭和63年、洪水のため大会当日に中止となった留萌大会以来の全道大会のない寂しい1年でありました。ご案内の通り、空知支部のご理解のもと空知大会を令和4年に順延し、**網走大会**は、今年9月17、18日の開催に向けて、その準備を進めております。コロナ禍も終息し、多くの皆様が参加いただける、賑やかな全道大会となりますことを心から願っております。

一方、本会では、昨年5月の理事会そして7月の臨時理事会において、事業の見直しとそれに伴う補正予算を組み、取りやめた事業に代わるものとして、**オンライン会議**のツールの整備、会員専用の新たなページを加えるほかコンビニからの会費等の振込を盛り込んだ**HPの改修**に着手しました。オンライン会議につきましては、すでに理事会を皮切りに各実行委員会において活用しており、支部での利用も準備を進めております。さらに、HPでは会員限定の動画コンテンツを用意し、CPD単位取得にも配慮

していくことにしております。また、アナログではありますが、会員の皆様に毎月お届けする会誌についても、その内容の充実を図っており今後とも皆様の要望に応じてまいります。

今年度から始まる事業としては、支部が住民・行政と一体となって活力ある地域を目指すきっかけとなるように、本会のPRや会員等の資質向上、地域住民との協働などをテーマとする支部やブロックの新たな事業に助成する仕組みを創設いたします。また、本部や支部の既往の事業にあてはまらない、会員有志の発意による地域貢献に関わる活動について、準備のための会議費用など、その初動期から支援できるように地域貢献活動センターの要項を昨年改正いたしました。このことにより、会員の皆様が日ごろから考えていること、気が付いたことなど、その事業の大小は問わず支援をいたしますので、多くのエントリーをお待ちしております。

日本建築士会連合会では、改正建築士法により誕生する試験合格後、一定の実務経験が登録要件となる建築士試験合格者を、「プレ会員」として入会を促すことに決定しました。本会では、この「**プレ会員**」のほか北海道の建築を支える技術者の施工管理技士を「**技士会員**」として準会員のなかに位置づけ、私たちと一緒に北海道の建築の質を高め、より安全で安心な生活ができる建物づくり、まちづくりを推進していくこととしました。是非とも皆様の周りの施工管理技士の方々にお声掛けし入会の勧誘をお願い致します。

今年も、本会では「**地域の誰もが知っている。なくてはならない建築士会**」を目指し、会員増強、組織力強化を見据え各種事業を進めてまいりますので、皆様のご理解、ご支援を引き続きお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



— 北海道ヘリテージ・マネジメント専門職育成講座 — 2020年度第6期専門職育成講座報告(中間)

ヘリテージマネージャー特別委員会 委員長 川原昌彦(札幌支部)

●はじめに

北海道ヘリテージ・マネジメント専門職育成講座は例年、6月から開始し10月で終了となります。しかしながら、今期第6期は新型コロナウイルスの感染拡大の状況により、3ヶ月遅れの9月12日から開始され12月12日終了予定となっています。この原稿を書いている11月末現在では計13回の講座の内、第12回の講座を終えた段階となります。その中間報告及び、今期において取り組んだその他の事業について概略を紹介し報告いたします。

●2020年に行った事業

1. 北海道ヘリテージ・マネジメント専門職育成講座【第6期】(計13回)
2. ヘリテージ・フォローアップ講座(開催計2回、中止1回)
3. ヘリテージアドバイザー研修会(計1回)

●3者での取り組み

事業は、以下の実行主体と資金で行われています。

実行主体:「北海道文化遺産活用活性化実行委員会」

この活性化実行委員会は、(一社)北海道建築士会、NPO法人歴史的・地域資産研究機構、(一財)北海道文化財保護協会の3者にて平成26年より組織され事業運営を行っています。なお、今期の2020年11月24日(火)より新たに「NPO法人オホーツク自然・文化ネットワーク」が加わり4者体制となりました。

運営資金: 資金面では次の文化庁の補助金を利用しています。

- ・ 地域文化財総合活用推進事業

IV. 地域文化遺産 (1) 地域の文化遺産次世代継承事業 (1) 人材育成事業 (2) 普及啓発事業 (3) 情報発信事業

●各事業について

1. 北海道ヘリテージ・マネジメント専門職育成講座

「歴史的・地域資産等の有効活用を進めていくことを目指し地域の財産として次世代に継承されるよう、それら地域資産を活かしたまちづくりを支える専門家の育成」を目的として開催されています。

講座の内容・スケジュール

マネージャーの育成時間は60時間、コーディネーターは30時間の受講が必要とされ、今期は9月～12

月の土日に集中して計13回の充実した講座が行なわれております。また、前年度から道内で活躍している方々を中心とした講師陣とし、地域性を踏まえた講義の構築を考慮しています。

なお、今期は開講前に新型コロナウイルス感染状況のフェーズに応じた感染防止策や、仮に受講生などに感染が発生した場合の対応方法などを十分に検討し、確認してから開講いたしました。第11回、12回の講座においては会場での講義と同時にZoomミーティングを用いたオンライン併用で行いました。(不慣れなところがあり不備により受講生の皆様にはご迷惑をおかけしたところもあるかと思います)



ソーシャル・ディスタンスを意識した講義会場の様子



「開拓の村」実測演習後の施設見学

資格	ヘリテージ・マネージャー (HM)	ヘリテージ・コーディネーター (HC)
資格要件	地域で保存活用を支える専門家として、下記の受講資格を満たすかたを対象とした60時間の講座を受講し、修了審査に合格した者	建築士等や学芸員ほか、文化財やまちづくり担当の行政職員、一般市民で、30時間の講座を受講した者
受講資格	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築士(一級/二級/木造) ・ 技術士(建設部門) ・ 建築施工管理技士 ・ 土木施工管理技士 ・ 学芸員 ・ 前述と同等の資格を有する者 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 左記各資格保有者 ・ 一般市民 ・ 文化財やまちづくりを担当されている行政職員

全国的にもあまり見られない北海道の講座独自の大きな特徴としては、一般市民を対象としたコーディネーターコースがあることと、マネージャーコースの受講資格に学芸員が含まれる点です。グループワークなどでは建設技術者だけでは得られづらい多様な相乗効果が生まれています。

現在までの受講実績

平成26年度の第1期講座からはじまり、今期の2020年度講座において第6期を迎えました。

第1期から2019年度の第5期までに計151名のヘリテージマネージャー（HM）とヘリテージコーディネーター（HC）が誕生しています。

今期第6期は計21名が受講されており、仮にその皆さんが修了し登録されるとすると計172名となる見込みとなっています。

期	年	HM	HC	計(人)
第1期	H26年	27	6	33
第2期	H27年	33	15	48
第3期	H28年	15	10	25
第4期	H29年	11	9	20
第5期	2019 (R1)年	20	5	25
全体計(人)		106	45	151
第6期 受講生数	2020 (R2)年	(16)	(5)	(21)
今期見込全体計(人)		(122)	(50)	(172)

※平成30年は中止となっている。
※全国のヘリテージマネージャーは、計 4,772人（2019年9月現在）

2. フォローアップ講習会

HM及びHCの①その資質・技術的能力の向上を目的に開催され、また、②地域のHC、HM等の活動について紹介する機会、③北海道各地の歴史的建造物や歴史、まちづくりを知る機会、④交流の場として開催されています。

2-1) 10月24日(土) 第1回ヘリテージ・フォローアップ講習会 in 石狩



① 石狩市本町地区まち歩き（歴史的建造物等見学）

この地の成り立ちや歴史をたどり、今に残るそれらを記憶する建物等をめぐりました。

（弁天歴史公園、金大亭、石狩八幡神社、石狩弁天社、旧長野商店、旧石狩小学校円形校舎、等）



金大亭



旧長野商店



旧石狩小学校円形校舎

② 講演「石狩本町地区の成り立ちと旧石狩小学校円形校舎の特長と今後の保存活用について」

講師に池ノ上真一氏（札幌国際大学観光学部観光ビジネス学科教授）をお招きし、2020年3月に閉校となった旧石狩小学校の円形校舎の特長や、今後の保存・活用の考えについてお聞きし、また、参加者の皆様からも多くのご意見をいただきました。

①見学会と②講演とも参加者数は23名でした。

2-2) 11月14日(土) 第2回ヘリテージ・フォローアップ講習会 about 室蘭 @札幌



「旧絵鞆小学校2棟の円形校舎の魅力とその保存・活用」と題し、旧絵鞆小活用プロジェクトのお二方をお招きしました。代表の三木真由美氏と北海道ヘリテージ・マネージャー【第2期講座修了】でもある吉田幸恵氏にご講演いただきました。

旧絵鞆小学校円形校舎の特長・魅力と地域との関わりや、その保存・活用の活動の経緯と今までの進め方や現状での苦慮されている点、今後の活用方法、その進め方・伝え方・展望について率直なお話しをしていただきました。参加者数は37名でした。



2-3) 11月21日(土) 第3回ヘリテージ・フォローアップ講習会 in 小樽【中止】

旧日本郵船株小樽支店の保存修理工事の見学と、この建物の特徴や耐震改修方法について講演をして

いただく予定でしたが、新型コロナウイルス感染急増によるステージの引き上げ等、それらを鑑み、残念ながら中止といたしました。いずれ状況が変わりましたら、時期を見て開催したいと思います。

3. ヘリテージアドバイザー研修会

全国のヘリテージアドバイザー（HC・HMにアドバイスできる知識を有する学識者等）をお招きし、HM・HCに様々な歴史的建造物および周辺知識について周知する機会として開催するものです。

9月19日(土) 2020ヘリテージアドバイザー研修会



「京都市における歴史的建築物の保存活用～3条その他条例を中心に」と題し、講師に文山達昭氏（京都市都市計画局建築指導部建築指導課長）をお招きし、全国的にも先駆的な京都市の建築基準法3条その他条例を用いた保存活用の事例などを紹介していただきました。参加者数は25名でした。

●全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会

例年、建築士会の全国大会に合わせて協議会総会、ヘリテージマネージャー大会が開催されます。しかし、今年度はコロナ禍の状況下、全国大会が1年延期されたことにより、それに代わるWEBを用いた報告発表会が開催されることとなりました。北海道を含めた各参加団体は、5分間の動画をWEB上で発表する予定となっています。

●北海道文化遺産活用活性化実行委員会としての新たな事業

今期は活性化実行委員会の新たな事業として、北海道教育委員会の計画のもと、北海道開発局・北海道の後援をいただき、道内各地で計8回の「縄文遺跡群ボランティアガイド養成講座」を主催として開催いたしました。



●おわりに～今後取り組むべき課題

第1期から第6期までの今まで過程から、以下のような今後取り組むべき課題が見えてきます。

- ① HM・HCの様々な活動や活躍を紹介する場や場面を数多く作りPRしていく
- ② 現在の登録者151名とそして今後も増えていく同じ志を持つ者同士の連携や情報共有ができるネットワークづくり
- ③ 補助金に頼ることのない自主的で持続的な講座のシステムづくり
- ④ HM・HCの活用機会の情報提供や支援
- ⑤ HM・HCのスキルアップできる機会の提供とその充実

今期においてHM、HCのネットワーク化を目指す準備会を設立する予定でしたが、コロナ禍の中、思うように進まず次期に持ち越しとなりました。

今後とも、歴史的地域資産の価値や保存活用のスキルを持つ建築士や市民が各地域で増え、地域の資産を活性化し、次世代に繋ぐための大きな力となることを期待し、そのために力を尽くす所存です。

「ヘリテージ活動・広域化へ」

(一社)北海道建築士会 事務局長 鈴木 功一



4者による調印式

※（斜里の関係者は当日天候悪化情報のため欠席）

建築士会の皆様お久しぶりです。過去の人間が戻ってきました。よろしく願いいたします。再度、ヘリテージをお手伝いすることになりました。これまで、個々に活動してきたヘリテージ活動を迅速かつ効率的に調査を行うため、平成26年5月から(一社)北海道建築士会、NPO法人歴史的・地域資産研究機構・北海道文化財保護協会の3者が共同で、北海道遺産活用活性化計画のため活動を行ってきました。

この度、道東オホーツク地域の斜里町を拠点にした文化遺産の専門家の方々からなる「NPO法人オホーツク自然・文化ネットワーク」様から、活動参加の申し入れがありました。道東地域は北海道の全体像の把握には、欠かせない団体です。是非一緒に目的を果たして行きたいと思っております。

調査活動を始めて足掛け7年になりますが、仲間も増え、エリアが広がってきましたのでますます頑張っている良い結果に結びつく事と期待しています。



情報委員会 境谷 香奈 (恵庭支部)

～恵庭市～

恵庭市は、令和2年11月1日に市制施行50周年を迎えました。恵庭市は、札幌市と新千歳空港のほぼ中心に位置する、充実した都市機能と美しい田園環境や豊かな自然環境を有する都市です。市街地のほとんどがJR駅から2kmの範囲におさまっており、歩いて暮らせるコンパクトな「住みやすい」まちです。

札幌駅まではJR快速列車で約24分、新千歳空港駅までは約13分と交通アクセスにも恵まれており、大都市でのショッピングや首都圏を始めとする全国各地及び海外への旅行にも便利なまちです。

田舎でもなく都会でもない程よいまち。「花・水・緑 人とつながり 夢ふくらむまち えにわ」です。

恵庭市は、昭和45年では、およそ3万5千人だった人口が、令和元年9月末には、人口7万人達成。来訪者が年間100万人を越える道と川の駅「花ロードえにわ」の隣接地を「花の拠点」と位置づけ、平成28年から整備を進めてきた、恵庭の新たな観光スポットが令和2年11月11日11時11分にオープンしました。

～花の拠点「はなふる」オープン～

拠点として多くの人々が楽しみ交流できる“7つのガーデン”で構成された大きな公園ができました。「花のまち恵庭」を体感できるよう、花とふれあい、身近でガーデニングを楽しむことができる公園です。公園の中には、噴水や憩いの場所が設置され、小さいお子様から大きなお子様まで、コミュニケーションが取れる公園です。

野菜や苗の直売所、「かのな」がありましたが、公園拡大と共に建物が新しくなり、地元や近隣で取れた新鮮な野菜も手に入れることができます。



恵庭農畜産物直売所「かのな」



花の拠点「はなふる」

「はなふる」の中にある建物は、以前、保健センターとして利用されていた施設です。建物をそのまま利用し、花を中心とした展示、研修機能、子どもの遊び場「りりあ」などがある施設としてグランドオープンしました。

～旧保健センター～

保健センターは、見れば見るほど！？面白い外観の建物なのです。この、建物のコンセプトは、身体なのです。発見できますか？私は、わかりません！！

建物概要 建築面積：1,414.63㎡ 延床面積：2,472.18㎡ 構造：鉄筋コンクリート造 2階建

恵庭市には市立病院がないため、夜間の診療所として利用されていた重要な建物でもありました。現在は、道と川の駅「花ロードえにわ」から近いこともあり、花の拠点「はなふる」の名称で、ガーデニングについてここに来ればわかる！を期待し、利用される場として改修しました。



センターハウス (旧保健センター)

～おいしい食べ物～

恵庭の特産物は、かぼちゃ「えびすかぼちゃ」、じゃがいも、玉ねぎ、お米、ハスカップ、アスパラなどがあります。市内には多くのアイス店、パン店があります。また、農家さんが作ったチーズなど年中通して四季折々、楽しむことができます。

～観光～

恵庭市の南側の盤尻地区には、恵庭溪谷があり、滝や紅葉が楽しめます。



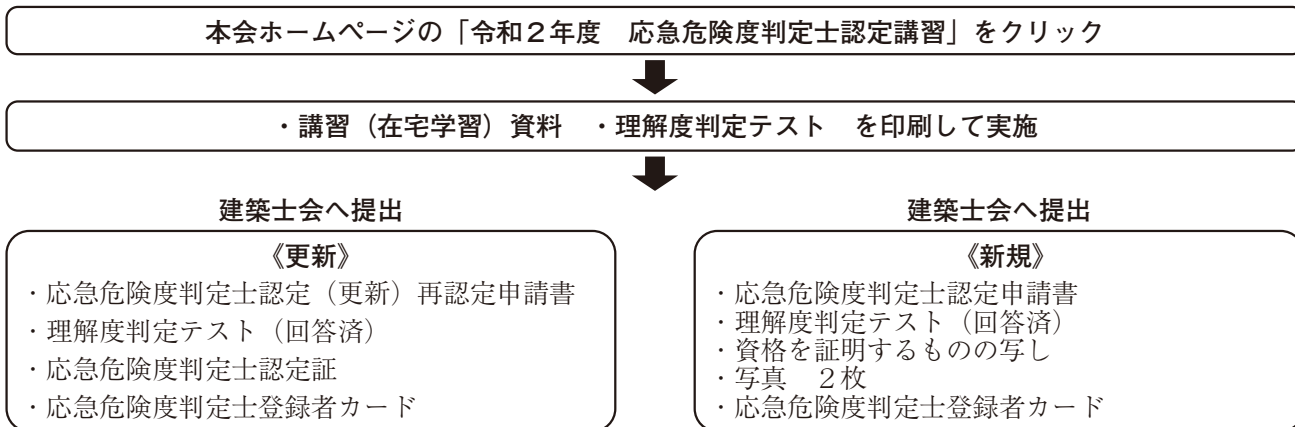
「白扇の滝」

「応急危険度判定士」への登録をお願いいたします！

【応急危険度判定士とは】

地震災害発生後速やかに被災建築物の現地調査を行い、余震等による倒壊や落下危険物等の危険度を判定ステッカーで表示し、人命に関わる二次災害防止を目的に実施される応急危険度判定の資格を持った方です。建築の専門家である応急危険度判定士による判定実施は、被災者の不安緩和にも繋がり、建築技術者としての社会貢献となります。

【応急危険度判定士の登録手続きの流れ】 *令和2年度は《書面による在宅講習》です



本会ホームページの「令和2年度 応急危険度判定士認定講習」をクリック

・講習（在宅学習）資料 ・理解度判定テスト を印刷して実施

建築士会へ提出

《更新》

- ・ 応急危険度判定士認定（更新）再認定申請書
- ・ 理解度判定テスト（回答済）
- ・ 応急危険度判定士認定証
- ・ 応急危険度判定士登録者カード

建築士会へ提出

《新規》

- ・ 応急危険度判定士認定申請書
- ・ 理解度判定テスト（回答済）
- ・ 資格を証明するものの写し
- ・ 写真 2枚
- ・ 応急危険度判定士登録者カード

詳しくは本会ホームページをご覧ください

令和3年 （一社）北海道建築士会会員作品の募集

みなさんの手がけた建築作品を広くアピールしてみませんか。応募作品のすべては、本会ホームページに掲載します。また、その中から4点程度を選考し9月発刊「北海道建築士No.289」に掲載します。多くの会員の応募をお待ちしています。

※応募要項など詳細は、3月発刊「北海道建築士No.283」に掲載。また北海道建築士会HP（<http://www.h-ab.com/>）では、第1回～8回の作品も見ることができます。

令和2年 建築士試験「設計製図」合格者（北海道）

	実受験者	合格者	合格率
二級建築士	344名	166名	48.26%
木造建築士	3名	1名	33.30%

「技士会員」「プレ会員」の創設について

（一社）北海道建築士会運営規則が改正され、令和3年1月から北海道建築士会準会員の呼称として、施工管理技士資格者を「技士会員」、登録前の建築士試験合格者を「プレ会員」とすることとなりました。（建築士を目指す方は変わらず「準会員」となります）

4月から施行予定の建築業法の経営事項審査の基準の改正において、審査項目に継続能力開発制度（CPD）が加点对象となります。準会員のみならずも建築士会CPD制度に参加できますので、ぜひご活用ください。

令和3年 北海道建築士会年間行事予定

1月	二級・木造建築士免許交付式	7月	二級建築士学科試験 一級木造建築士学科試験
2月	一級建築士免許交付式	8月	二級建築士学科試験合格者発表
3月	第1回理事会（10日） 定時総会（26日） 全道青年委員会連絡会議（27日）	9月	第3回理事会（3日） 全道大会（網走大会）（17日・18日） 一級木造建築士建築学科試験合格発表 二級建築士設計製図試験
4月	二級木造建築士試験受付 一級建築士試験受付	10月	一級木造建築士設計製図試験
5月	第2回理事会（14日） 青年建築士の集い	11月	全国大会（広島大会）（20日・21日）
6月	支部長・事務局長合同会議（11日） 青年委員会「建築士のお仕事体験イベント」	12月	第4回理事会（10日） 建築士試験設計製図試験合格者発表

斜里支部

5感で感じるものづくり体験

青年部長

鈴木 隆明



斜里支部青年部は、新型コロナウイルスの影響を受け昨年度の行事などが全て中止という結果になってしまいました。そのためここでは以前に初めて参加した斜里町のイベント『子供芸術フェスティバル』についてご紹介します。

木育がテーマのワークショップを担当することになり会員と何をしようか？そこから始まり、やっぱりものづくりを経験して木とふれあい、楽しみや喜び、そしてなによりものづくりに興味を持ってもらいたい！小学生以下が対象

だったので『親子で一緒に木でいすづくり体験』に決定しました。

まずは設計図を作成、小さい子でも作れるようにあらかじめキットに加工して会場ではインパクトドライバーで組み立てできるようにしました。当日は予約制だったので20組分を作っておきましたが開場後すぐに予約は埋まり予想以上の反響でした。

作り方を説明しながら会員などが手伝い、進めていく感じで少しずつ形になっていくと子供たちの真剣な顔とそれ以上に真剣な親の顔を見ることができました(笑)

今回初めての参加により、どのようにしたら子供たちが楽しめるか？喜ぶか？を会員皆で考えながらイベントに参加でき、今後のイ

ベント考案や実施などの参考になったと思います。最後にこのイベントを体験した子供達がものづくりや建築という仕事に少しでも興味を持ってもらったら最高です！



いすづくり体験の様子

紋別支部

紋別支部近況

事務局長

鈴木 光彦



紋別支部の事務局長となり、3年が過ぎようとしております。慣れてきたところでしたが、令和2年は「新型コロナウイルス」に翻弄された一年となってしまいました。そんな中でも、注意を払いながら、活動を行っている支部もあるかと思えます。紋別支部は、総会の開催はしたものの、その後の事業について、ほぼすべて中止となってしまいました。2015年に紋別にて全道大会を開催してから、

青年部の活動が活発になり、事業が増え活気が出てきていたところでしたので、活動ができない状況が本当に残念です。令和2年は支部からお伝えできるニュースがありませんでしたので、私の仕事の関係から一つお伝えいたします。

紋別といえば、オホーツク海の流水を思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか。この度、新しい流水観光船「ガリンコ号Ⅲ IMERU」が完成し、令和3年1月9日より、本格就航する予定となっております。オホーツク海の観光の拠点として多くの皆さまにご利用いただけると嬉しいです。観光客の増加に伴い乗船場が狭隘と

なることが予想されることから、旅客施設である「海洋交流館」についても改修を行っております。

(これは私が担当している現場となります)新たにフードコートも新設されますので、流水観光とオホーツク海の食を堪能しに、是非、紋別にお越しいただけると幸いです。



ガリンコ号Ⅲ IMERU

高性能改質アスファルト塗膜材と高性能ルーフィングが実現させた「加熱型」改質アスファルト塗膜防水：プライムアス工法

熱アスファルト防水で使用する工事用アスファルトの性能を極限まで高め、

JIS A 6021 建築用塗膜防水材に相当する高い伸び率を得ることで、画期的な「省力化」工法が確立



- 高性能塗膜防水材を組み合わせることで、単層ながら3層防水に匹敵する性能
- 加熱型の最大のメリット「施工⇒即硬化」で、次工程までに時間が短縮
- 加熱型であるため、冬季の施工にも対応
- 低臭タイプのアスファルトにより、CO2排出量が低減し、環境配慮も充実
- 電気型溶融釜を使用することで、更なる省力化と環境対応を実現
- 工期短縮を求められる外構工事にも効果を発揮



東西アスファルト事業協同組合

〒060-0042 札幌市中央区大通西6-2-6 大樹生命札幌大通ビル3階 田島ルーフィング(株)内

Tel 011-221-4014 Fax 011-222-3627

技術協力メーカー：TAJIMA 田島ルーフィング株式会社

道士会の動き

道本部の主な会議報告（12月）

◆第5回理事会

〈開催日〉12月4日（金）

- 〈議題〉
- 1) 令和2年一般会計事業報告(10月末)及び収支決算見込
 - 2) 令和2年特別会計事業報告(10月末)及び収支決算見込
 - 3) 『(一社)北海道建築士会特別活動費』の活用及び助成額、助成申請の手続き並びに助成の決定に関する要項』の制定(案)
 - 4) 実行委員会事務分掌
 - 5) (一社)北海道建築士会会員入退会様式の変更(案)
 - 6) 「(一社)北海道建築士会Web会議システム利用規則」の制定(案)
 - 7) 本会の会費未納者への請求期間
 - 8) (一社)北海道建築士会事務局職員就業規則の改正(案)
 - 9) 令和3年一般会計事業計画及び収支予算(案)
 - 10) 令和3年特別会計事業計画及び収支予算(案)
 - 11) 令和3年定時総会
 - 12) 定款第6条に基づく会員の入会承認(案)

◆第3回情報委員会（WEB）

〈開催日〉12月12日（土）

- 〈議題〉
- 1) 令和3年事業計画及び予算
 - 2) 会誌「北海道建築士」他

CPD認定プログラム(12月認定)

◆JSCA北海道支部2021技術交流会

〈日程及び会場〉1月19日（火） 15:30～17:30
札幌市民交流プラザ（札幌市）

〈単位数〉 2単位

〈問合せ先〉

(一社)日本建築構造技術者協会北海道支部
TEL 011-206-6600

編集後記

新年明けましておめでとうございます。昨年は新型コロナウイルス感染症の関係で全世界を震撼させる事態に陥る年になりました。そのコロナ禍の方策としてオンライン会議のツールの整備やHPのリニューアルなど会員の利便性を図る事業展開を実施してきました。

また、会誌「北海道建築士」においても新たな情報や全道市町村を対象としたまちづくりなどを紹介する誌面づくりなど内容の充実を図って参りますので今後とも皆様方のご支援をよろしく願います。

“コロナに負けず！”頑張りましょう！

情報委員会常務理事 伊藤 隆英（恵庭支部）

本部の主な行事予定（1月）

- 23日（土） まちづくり小委員会
23日（土） 第1回青年委員会
30日（土） 二級・木造建築士免許交付式

関係機関等会議参加予定（1月）

- 20日（水） 日本建築士会連合会理事会（東京）
高野会長出席

講習会のご案内

監理技術者講習

- 1月20日（水） 札幌市 1月21日（木） 函館市

建築士定期講習

- 1月27日（水） 札幌市

“会員専用ページ”でオンデマンド配信中！



■視聴方法：北海道建築士会HPの上記「会員専用ページ」をクリックしパスコードを入力

■1月パスコード：Spp001

令和3年専攻建築士登録申請受付のご案内

専攻建築士認定申請について

- 〈受付期間〉令和3年1月4日～2月28日（当日消印有効）
- 〈申請書〉北海道建築士会HPよりダウンロードできます。
- 〈申込〉申請手数料（審査手数料・登録料）の振込控えを申請書に添付し北海道建築士会へお申込みください。

情報委員会委員長／斎藤 勝哉
副委員長／早川 陽子・森 勝利・前田 繁
委員／柏倉 晶恵・村山 賢司
片岡 哲二・境谷 香奈

北海道建築士 No.281号

印刷 令和2年12月／発行 令和3年1月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会
〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地
大五ビル
電話 (011) 251-6076番
URL <https://www.h-ab.com/>

印刷 株式会社 正文舎
〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目
電話 (011) 811-7151番